安田不動産株式会社　NEWS RELEASE

２０２６年１０月２日
安田不動産株式会社

報道関係各位

TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH 企画 グループエキシビション『“SOFT COPY”「物質としての写真、立ち上がる写真」』 日本橋浜町の HAMACHO HOTEL ほかで開催

安田不動産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 安田 守）は、当社がまちづくりを進めている日本橋浜町において、TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH の企画によるグループエキシビション『“SOFT COPY”「物質としての写真、立ち上がる写真」』を、2026 年 10 月 16 日（金）から 10 月 25 日（日）まで開催いたします。

本展では、「HAMACHO HOTEL（運営：UDS 株式会社）」をはじめ、オフィスビルのエントランスや開発過程にあるスケルトン状態の建物など、日本橋浜町の複数の空間を展示会場として活用いたします。

■エキシビション概要

“SOFT COPY”「物質としての写真、立ち上がる写真」



会　期　**2026 年 10 月 16 日（金）　～　10 月 25 日（日）**　※開館時間は後日公開いたします
会　場　**HAMACHO HOTEL　（東京都中央区日本橋浜町２-30-2）**
トルナーレ日本橋浜町 1 階特設ギャラリー　＋　日本橋浜町　各サテライト会場
観覧料　**無料**
企　画　**TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH　プロジェクトマネージャー　ベイン理紗**
主　催　**TOKYO CRAFT ROOM　／　安田不動産㈱**

――ものづくりが生まれた背景には、地域固有の場所性との密接なつながりがある。

TOKYO CRAFT ROOM は、HAMACHO HOTEL にあるコンセプトルームの 1 室でありながら、東京という大都市を経由してクラフトの価値を編集し、未来へ繋げる活動と発信のメディアとしてのユニークな歩みを続けてきました。本展では、その視点を「写真」へと広げます。

本展『SOFT COPY』は、写真に内在する「工芸性＝クラフト」とその現代的な変容を出発点に、作家自身の手によって制作された写真から新たなテクノロジーを用いた表現まで、11 名の作家による多様な作品を紹介するグループエキシビジョンです。

写真は、光や化学反応によって像を定着させる科学技術として発展すると同時に、暗室での現像や焼き付け、素材の選択と加工など、人の手による繊細な制作の積み重ねによって形づくられてきました。2000 年代以降、メディアのデジタル化が進み、「ポスト・インターネット」や「デジタル・オブジェクト」といった概念が広く共有されるなか、写真は物理的な支持体から解放され、複製や変形、再構成を繰り返しながら自在に流通するものへと変化してきました。一方、作家たちはこうした写真の柔軟性を引き受けながら、そこに一時的な形や質量を与え、「モノ」として立ち上げる物質的な実践にもあらためて向き合っています。

本展では、アメリカの現代美術家であるアーティ・ヴィアカントの論考「The Image Object Post-Internet」（2010）が示した「イメージ」と「オブジェクト」の関係を手がかりに、現代の作家たちが写真の流動性をさまざまな素材や技術と結びつけ、イメージとオブジェクトのあいだに新たな関係をつくり出す試みに注目します。画像と物質、手仕事とテクノロジーのあいだを往来する作品を通して、写真における新たなクラフトのあり方を、日本橋浜町から発信します。






■参加アーティスト

宇田川直寛、小川美陽、河原孝典、児嶋功一郎、小山泰介、島内秀幸、築山礁太、西村祐馬、
細倉真弓、山本華、余宮飛翔

■TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH について

TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH（TPR）は、写真表現をベースとしたリサーチ・制作・対話を通じて、都市や社会を読み解くアーティストコレクティブです。2018 年、オリンピックを契機とした大規模再開発によって変貌する東京を写真や映像で記録・表現・アーカイブするために発足しました。「都市の多角的なリサーチ」や「現代写真の実践的な探究」をミッションとして、未だ見ぬ都市と社会と人々の姿を可視化し、見出されたヴィジョンを未来へ受け継ぐことを目的としています。

過去 7 年間で 70 件を超えるプロジェクトを約 80 名/組のアーティストたちと実施するなど、TPR は多様な視点や価値観を共有するプラットフォームであり、世代、国籍、専門性の異なる領域横断的ネットワークでもあります。さらには、企業や行政、各国大使館や国内外の美術大学などとも連携し、都市の記録から地域リサーチ、ワークショップや教育プログラム、国際的な文化交流にも力を入れるなど、日本写真における文化的・社会的・経済的なエコシステムの創出を目指した活動を多角的におこなっています。

■TOKYO CRAFT ROOM ついて

「TOKYO CRAFT ROOM」は、国内外のデザイナーが日本各地のものづくり現場に赴き、その土地、歴史、技術、素材をリサーチし、作り手と共に未来を思い描きながら、洋の東西を問わず現代に合わせたアイテムを生み出す、接ぎ目の役割を果たす活動であり、場所です。

完成した作品は、「TOKYO CRAFT ROOM」を構成するアイテムとして順次発表・設置され、変化していく様を楽しめる特別な客室です。日本で行われている素晴らしいものづくりの技と精神が、新たな出会いや解釈を経て、この部屋から世界に、未来に向けて発信されます。

公式 HP：https://tokyocraftroom.jp/

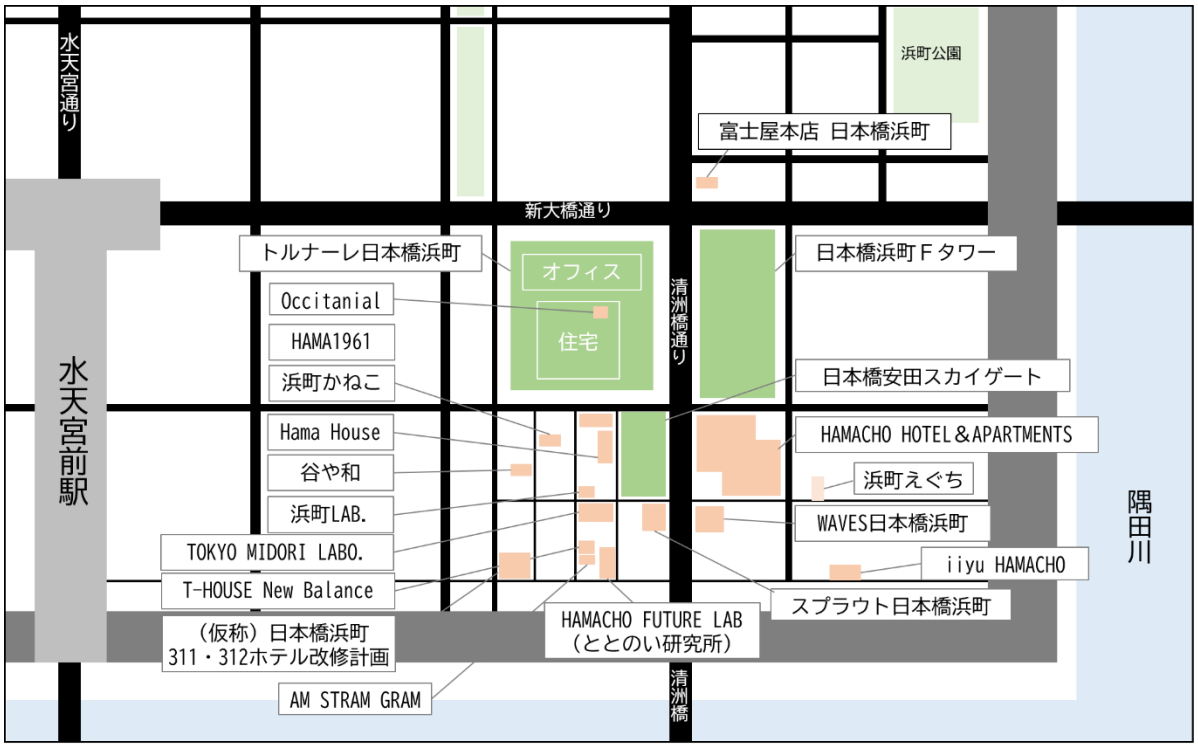
■当社の日本橋浜町におけるまちづくりについて

当社は、日本橋浜町において、“住み続けられ、働き続けられるまちづくり”を目指し、「日本橋浜町 F タワー(1997 年)」、「トルナーレ日本橋浜町(2005 年)」等の大型オフィスビルや住宅を開発し、2015 年から、エリアの差別化を図るため、まちづくりコンセプトを“「手しごと」と「緑」の見えるまち”と定め、日本橋浜町でしか体験できない路面型店舗を開発誘致しています。大規模再開発(面開発)ではなく、中小規模開発(点開発)にて路面型店舗を継続して開発誘致することで、エリアの魅力や活力の向上を図ってきました。2015 年度開業の「浜町かねこ（そば）」「谷や和（うどん）」「富士屋本店日本橋浜町（フレンチ）」に始まり、2019 年には、新しい文化・コミュニティを創出する場として複合施設「HAMACHO HOTEL&APARTMENTS」、2020 年には「T-HOUSE New Balance」、2022 年には「Single Ohamacho（コーヒー）」、2023 年には「HAMACHO FUTURE LAB/ととのい研究所（サウナ付きランニングステーション）」、2024 年には「浜町えぐち（寿司）」、2025 年には「iiyu HAMACHO（都市型銭湯）」の開発等を行いました。これらの取り組みにより、地域住民やワーカーの生活拠点となるだけでなく、国内外から多くのゲストを迎え入れることに繋がっています。

これらのハード面の開発と並行して、まちの賑わいづくりに資するソフト面の取組みも行っています。地元住民(地域)や就業者(企業)との関係構築や交流促進を図るため、2015 年に浜町マルシェを立ち上げ、2017 年に地域交流拠点「Hama House」を開発し、情報交換や新たな繋がりをつくるイベントも開催しています。2020 年 4 月に地元町会、商店街及び地元企業等とともに立ち上げた「一般社団法人日本橋浜町エリアマネジメント」は、2022 年に都市再生推進法人の指定を中央区から受け、現在 47 者にて組織しております。

今後も、これらの中小規模の点開発（ハード面）と多様な地域活動によるエリアブランディング（ソフト面）を一体的に継続することで、日本橋浜町の個性あるまちづくりにより、地域住民や就業者の交流や街に対する愛着を醸成させるだけではなく、多様な人が訪れたくなる魅力的なまちづくりを目指して推進して参ります。

■日本橋浜町まちづくりマップ



■日本橋浜町における当社のハード面の取り組み

再開発物件（1997年～2005年）


日本橋浜町Ｆタワー
1997年竣工


日本橋安田スカイゲート
2003年竣工


トルナーレ日本橋浜町
2005年竣工

＋

遊休不動産









大街区の再開発を行った一方で、同エリアには未活用の遊休資産が多く点在

中小規模開発物件(2015年～) “「手しごと」と「緑」の見える街”


浜町かねこ(蕎麦)
2015 年開業


富士屋（フレンチ）
2016年開業


谷や和(うどん)
2016年開業


Hama House
2017年開業


HAMACHO HOTEL
& APARTMENTS
2019年開業


WAVES日本橋浜町
2019年開業


浜町 LAB.
2020年開業


T-HOUSE New Balance
2020年開業


TOKYO MIDORI
LABO.
2020年開業


スプラウト日本橋浜町
2021年開業


ととのい研究所
HAMACHO FUTURE LAB
2023年開業


浜町えぐち
2024年開業


iiyu HAMACHO
2024年開業


HAMA1961
JM.WESTON ATELIER
2025年開業


AM STRAM GRAM
2026年開業

＜リリースに関するお問い合わせ先＞

安田不動産㈱　経営企画部　広報担当

TEL　03-5259-0517　FAX　03-5259-0532

＜本件に関するお問い合わせ先＞

安田不動産㈱　まちづくり事業本部 まちづくり事業第一部　太田原・佐々木（おおたわら・ささき）

TEL　03-5259-0524　FAX　03-5259-0528